

知っておきたい成人の全身疾患

高血圧症・・・血圧とは大動脈とその分岐大動脈内の圧力をさし、全身組織に血液を灌流させる原動力です。理想値は最高血圧120mmHg（水銀柱ミリメートル）未満、最低血圧80mmHg未満です。最高血圧が140mmHg以上、あるいは最低血が90mmHg以上を高血圧と定義します。高血圧が持続すれば、血管、心臓、腎臓、脳などに機能障害が起こることもある。

糖尿病・・・血糖レベルを調節するホルモンであるインスリンの分泌不足もしくはインスリンに対する組織の感受性低下により、インスリンの作用が障害されて血糖値の上昇をきたし、それに伴って代謝異常を呈する疾患です。長期間にわたって血糖高値が続くと、網膜症、神経障害、腎症などの合併症を併発します。

高脂血症・・・血清中総コレステロール値が高くなる症状。

虚血性心疾患・・・心筋が代謝するのに必要なだけの血液を受け取ることができずに酸素不足に陥り、心機能が障害される疾患をいいます。心筋への酸素供給の減少は、心筋へ

きょうさく

血液を供給する冠動脈の動脈硬化による器質的狭窄が原因であることが多く、高脂血症、喫煙、高血圧、糖尿病、肥満、運動不足、ストレスなどによって促進されます。冠動脈が完全に閉鎖されると心筋は壊死し、これが**心筋梗塞**の病態です。

一方、冠動脈の収縮や攣縮によって一時的に心筋への酸素供給が障害されるのは**心筋症**です。この場合の心筋への酸素欠乏は、心筋の酸素需要の増加によるもので、身体的労作、精神的興奮、過飲・過食、頻脈、血圧上昇、心筋肥大、甲状腺機能亢進症などが心筋症の引き金になります。

肝疾患・・・①**急性肝炎**・・・肝臓がウイルスや薬物などによって急性の傷害を受け、肝細胞の変性、壊死、さらにそれに続いて生体側の炎症反応が加わった病態です。肝機能が低下し、全身倦怠感、食欲不振、吐き気、嘔吐、黄疸などをきたします。

②**慢性肝炎**・・・急性肝炎に罹患後、6ヶ月以上にわたって肝内に炎症が残り、臨床症

せんえん

状や肝機能異常が遷延する病態をいう。

後天性免疫不全症候群（AIDS）・・・ヒト免疫不全ウイルス（HIV）の感染によって起こされる免疫不全症に続発する症候群。

北山歯科クリニック 歯科衛生士 山根真由美